



24年度 第12号
通巻1810号

発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



2・11集会を実施 実証的な考えで平和を守ろう



2月11日(火・祝) 『「建国記念の日」に反対し、日本の今と未来を考える集い』が開かれました。参加者は、会場ほぼ満席の約150人でした。

講演は、小幡尚さん(高知大学教授)。演題は、『「軍・戦争と高知」研究の現状』でした。ご自身が行われている忠霊塔やその中の遺骨などの調査から、物事

を裏証的に考えて行くことの大切さを説かれました。そして、戦死場所などもはっきりしないなど、人の死が粗末に扱われている実態から、戦争の理不尽さや民衆(の生死)が軽んじられたことなどをお話しいただきました。そのお話しを聞く中で、非科学的な「建国」や「万世一系」が強調されるこの祝日に、戦争賛美・天

皇制など戦前への回避の危険性を改めて感じていました。寄せられた感想の中から一人の声を紹介します。「忠霊塔が個人のものでなく、歴史を受け継ぐ戦争を考える社会的な意味を持つていると分かりました。戦争による死は、〇〇人とひとくくりになれ、個人が尊重されてい

ません。平和を祈ります。」 2月11日、この日を制定した政府の意図(ねらい)を改め

高知県教組女性部では10名の参加で、25年2月13日(木)の18時から1時間、県教委との話し合いを行いました。「女性教職員の権利と母性保護に関するアンケート」の結果(教育通信2月号に掲載)と「女性教職員の労働条件の改善に関する申し入れ書」をもとに、「ハラスメント対策」と「母性保護・教員不足解消・多忙化解消に関すること」に重点を置いて現場の声を届けました。

事前(1月22日)に、7項目(①人員不足の対応、②23年度の産育休・病休数と配置された代替数、③24年度12月までの産育休・病休数と配置された代替数未配置数、④12月1日並びに1月1日時点の未配置数、⑤産育休代替前倒し加配予定数、⑥研修や提出物で24年度に減らしたものの、⑦ハラスメント相談連絡先の掲示ポスター未配置の理由)の質問状を出して

て理解し、平和を守るとりくみを継続していかなばと決意新

女性部、アンケートを下に 県教委と話し合い

県教委からは、未配置数などの数値の回答は事前も含めて

ありました。しかし、例えば、ハラスメントに関して「管理職研修で行ったり、全教職員に向けた動画の配信を行ったりした」との回答がありました。この回答が

ある特別支援学校の教員に対する妊娠初期(4ヶ月まで)の介助員(1日3時間)の配置について、辞令に時間がかかる等の原因で素早く着任させることが出来なかつた事例が発生。組合員が指摘して改善されました。同様の事例が起きないよう、他の特別支援学校にも周知すると

や、具体的な事例で改善を求めていくことが大事です。来年度も、引き続きアンケートなどにより職場の困っている事例と声を届け、一歩でもより良い方向へ改善・前進するよう訴えていきます。

未配置に関連して、まだ課題が見られていません。これは、毎年、同じような指摘「中学校では、すべての教科において、目標値を下回る結果」との表現も「目標値」を全国平均にすれば、これも全国学テの分析コメントと同じ内容▼「県教育委員会としましては、本調査から明らかになった課題を改善するために」とりくみをする

同じ傾向の結果なら、県版学テを実施する意味があるのか▼最後に家庭に対して「子どもたちの頑張りを褒め」とあります。①対策に走らされる現場の頑張りをおななは褒めたのか。②問題点ばかり指摘するコメントの中で、家庭では子どもを褒める?何を?(和)

お城下

2月20日、12月に行われた県版学テの結果と県教育長のコメントが公表に▼「全国学力・学習状況調査と同様に、知識を活用して問題を解決するといった思考力などのトータルな力の育成といった点では、

学校現場の願いを実現する運動を 県教組中央委員会開催

2月8日(土)の午後、高知県教組第180回中央委員会(以下、中央委員会)を開催しました。県下各教組から選出された代表が集まり、24年度の今までの活動を振り返り、成果と課題を共有するとともに、25年春闘期の活動方針を話し合い、決定しました。

中央委員会は、細木委員長のあいさつから始まりました。そして、来賓あいさつ、植野書記長などからの議案の提案の



後、討論に入りまし
た。以下、その討論
で出された発言のい
くつかの要旨を紹
介します。

【高校・Nさん】
「総合共済の拡大
を進めてきた。今
年度は、14名に入っ
てもらった。総合
共済は、(月々6
00円の掛け金で、
いろいろな給付が
あって、退職時に
は掛け金が全額返
されるとい)マ
イナス面が全くな
いので、話すとき
は嬉し人ばかり。24年
度は、ナツやチョコ
などの話しかけ
るアイテムもあり、

使ってきた。下駄箱
の所や、駐車場まで
の間など、いろんな
機会に声かけをして
きた。キャンペーン
期間中は、加入者が
いれば職場へのプレ
ゼントもあり、職場
にも喜ばれている。」
【高知市・Oさん】
「中学校のタテ持ち
で、教材研究の多さ
や学年を超えて指導
することで、若い人
が疲弊している。問
題点を県教組でも調
査し、対策を考えて
ほしい。」

【高岡・Uさん】
「高岡教組では、10
月19日に高岡教研を
行った。地元の人
の働きかけで、組合員
のいない学校の体育
館を使わせてもら
うなど、工夫をして開
催。全体講演では、
中学校時代から活動
する大学生の地域の
ジンド池の保全活動
の話聞いた。分科
会では、おしゃべり

保健室の開催な
ど、いろいろな
悩みを語り合う
ことが出来た。」
【安芸・Iさん】
「部活動の地域
移行で、地域クラブ
の指導がボランティア
になって、教員に
新たな負担になって
いる場合がある。そ
の在り方は問題。」
【高知市・Oさん】
「お昼にまとめて取
れない休憩時間が、
昼休みと放課後に分
割されている学校が
ある。それでも、実
際はほとんど取れて
いない。管理職でさ
え、休憩時間のこと
を理解していない人
がいる。」

【高知市・Iさん】
「青年部を中心に、
韓国ピースツアーに
行ってきた。(北緯
38度線を挟む)国
境を見てきた。日本
の植民地支配の資料
館もあり、日本の加
害を実際に見てきた。
韓国の人たちは学ん
でいるのに、日本で
はこの加害を教えて
いないことに気づい
た。ツアーの中で、
韓国の先生や学生と

も交流をしたが、日
本のことを聞くと、
肯定的な意見も多か
った。過去のいろいろ
はあったが、『今を
大事にする』という
姿勢も学んできた。」
【高知市・Oさん】
「若い人が増えてお
り、産育休が増えて
いる。しかし、代替
が来ないなど、取得
する人が『すいませ
ん』という状況。み
んなが心から『妊娠
おめでとう』と言
える状態になってほ
しい。若年研修も出席
する教員の負担も大
きいが、同一校で重
になると、学校の負担
も大きい。改善をし
て欲しい。」
【高校・Nさん】
「特別支援学校で、
小学部の27名中5名
が妊娠するとい
う状況だった。
妊娠四ヶ月まで
母体保護介助員
(1日3時間、
会計年度任用職

員)が入ってくれる
制度があるが、校内
では『(会計年度任
用職員)着任は2
週間前に申請手続き
を終えないとだめ』
と言われて、着任が
遅れた事例が発生し
た。組合で話をして、
県教委に確認すると、
そんなことはない
という返事だったので、
事務長と校長に伝え
て改善できた。おか
しいと思ったことは、
すぐに組合に相談す
るという対応が大事
だということを感じ
た。」

【高岡・Nさん】
「勤務している小学
校で、児童が参加す
る地域の合唱部の指
導を任されている。
しかし、地域の合唱
部という形なので、
土曜日の午前中の練
習はボランティア扱
いになっていて。子
どもを引率しても、
代休もないし、出張
扱いにならない。指

導をしながら、心
中の葛藤が続いて
いる。」
【幡多・Kさん】
「退職して、組合の
仕事を手伝いながら、
古本屋を始めた。時々、
高校生も買っていて
くれる。そんな話
を本屋に関わって
くれた仲間になると、
文学の話になり、
『教科書に文学作品
の味わいなくなっ
た』とか『(機械的
な解釈技術ばかりが
教えられる、そんな
教科書の中では)学
力はどうかとえられ
ているのか』とかの
意見が出されている。」

このように、現場
の実態を出し合いな
がら、今私たちが置
かれている状態や、
これからの運動に必
要な視点などを学び
合い、討論を終了。
すべての議案を採択
しました。

明日からの実践と
組合活動を頑張っ
ていこうという
意思統一をして、
中央委員会は終
了しました。



2025年2月12日

【声明】これでは学校がもたない！—第217国会に提出される給特法等改定法案について—

全日本教職員組合中央執行委員会

2月7日、政府は、第217回に提出する「公立の義務教育諸学校等における教育職員の給与等に関する特別措置法(以下、給特法)」をはじめ、学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下、地教行法)」、教育公務員特例法(以下、教特法)」等の一部を改定する法案を閣議決定しました。中教審答申にもとづく法案の内容は、労基法第37条適用除外をそのままにし、無定量化時間外勤務を放置するとともに、「新しい職」を創設し、職場に分断を持ち込み、上意下達型の学校運営に道を開くものです。これでは、長時間過密労働解消・教員不足の解消にはならないばかりか、教育現場へのさらなる管理統制強化をすすめることとなります。

教員の処遇改善として給特法第3条を改定し、教職調整額を10%まで引き上げるとして、2026年1月から5%とすることは、一律の処遇改善として重要です。しかし教職調整額増額に長時間労働を抑制する効果はありません。むしろいっそう長時間労働につながる危険性があります。給特法改正にあたっては、超過勤務禁止の原則を守りつつ、やむを得ず生じた時間外勤務に対して残業代を支給する内容を盛り込み、長時間労働を抑制することが必要です。

教特法の一部を改訂し、義務教育等教員特別手当(以下、義務特手当)を校務類型に応じて条例で支給額を定めることとしました。義務特手当を一律に引き下げ、その原資をもとに学級担任に3000円程度加算することが想定されています。そもそも義務特手当は人材確保法にもとづく手当であり、その趣旨から手当額に差をつけることは不当です。

新たに給特法第8条を設け、教育委員会に業務量管理・健康確保措置実施計画の策定・公表、計画の実施状況の公表を義務付けました。加えて学校教育法、地教行法を改定し、校長が学校運営協議会で承認を得る「基本的な方針」に、教育委員会が策定する計画の内容を含めることを求めています。

教職員定数の抜本的な改善を図ることなく、国が地方教育行政や学校に「教員の業務量の適切な管理」を強要し、公表させることで「成果」を煽ることは、管理職による退勤強要や時短ハラスメント、教職員の持ち帰り業務の増加を招く危険性があります。

学校教育法を改定し、すべての校種に「新たな職」として、「主務教諭を置くことができる」としてあります。そして、教諭と主務教諭の間に6000円程度の賃金格差を設けようとしています。教職員の差別化と階層化をすすめることで、教育活動に不可欠な教職員どうしの共同性が破壊されるとともに、さまざまな業務が「主務教諭」に押しつけられることも危惧され、いっそう職場の矛盾が広がります。

この法案では長時間過密労働・教職員不足は解消できないことはあきらかです。全教は、教職員の声を聞いて、国会で徹底審議により法案の問題点を明らかにし、残業代支給を可能とする給特法の改正、教職員的大幅増員を実現することおよび「主務教諭」を導入しないことを求めます。

以上

政府案の給特法改定では解決されない!

① 政府は、今国会に「給特法改定案」を提出しようとしている。その内容は、

② 4%から10%へ引き上げていくこと
③ 義務特手当引き下げの代わりに学級担任手
④ 主務教諭設置

置などです。定数標準法の改正で抜本的に人員を増やすことや抑制のた
めの残業代を支給す

ある何かを削るしか
ら、その原資は、今
やさないままです
か、教育予算は増
つなかりません。し
今の現状の解決には
そのまま。これでは、
も定額働かせ放題も
ることはなく、人員

ありませぬ。教職調
整額が上がっても、
人によっては手取り
は減ってしまうよう
な結果も。こんな
「改定案」ではなく、
抜本的な改善を求め
ることが必要です。
(左の「声明」参照)

教職員のための自動車保険は



全教自動車保険

教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん
見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

今年もやります。

採用審査1次試験(教職教養)対策

明日を拓く連続講座

日時 第1回 4月18日(金)

第2回 5月2日(金)

どちらも午後7時から

場所 高知城ホール2F会議室

参加費(資料代) 500円

内容 両方とも内容は同じ。教職教養全般について傾向と対策を解説します。参加出来る日にどうぞ。

*事前申し込みは必要ありません。

高知県内を流れる1・2級河川⑫

1	2	3	4
5			
6	7	8	
	9		10
11			12
13			

【タテのカギ】

1. 高知の路面電車、東の終点駅
2. 日高村の伝説の人・○○○○茂平
3. タご飯。別な言い方で。
4. 春夏秋冬
7. マグロの切り身にすりおろしの山芋を掛けた料理
8. ○○○○な表情

【横のカギ】

1. 雛飾り。三人官女の下の段
5. 剣道の技の一つ
6. アフリカにある国・チャドの首都
9. 伐採・炭焼き等

で学年末を迎えた

山でする仕事
12. くつつきワイド は○○、あ○○り、○○う
13. 犬が大好きな人
かぎを解いて二重枠に入る4文字で、高知県内を流れる1・2級河川の名前(○○川、解答には川をつけてね)を作ってください。①解答②郵便番号・住所

【1月号の当選者】

「しんじょう川(新莊川)」でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございませう。

波内舞子さん (昭和 small)

ぶっさんさん (久重 small)

矢野正明さん (吾北 small)

【みなさんの声より】

○3学期が始まってすぐ、退職した先生方と交流会がありました。久しぶりに先輩に会えてお話しできて嬉しい時間でした。もうすぐ私も仲間入りと思って頑張ります！
○今の学校の状況では、教員になったらいいよと勧めることはできませんね。
○もうすぐ6年生が



くことがあります。
卒業。6年間のうち3年間も担任。嬉しい気持ちと寂しい気持ちでいっぱいです。あの小さかった皆が、こんなにもたくましく育っていることが本当に嬉しいです。これからもそれぞれの道を歩んでいく皆さんを心から応援したいと思います。
○7年度の新入生、1クラスなのか、はたまた2クラスになるのか、ギリギリのところでのしぎを削っていて、職員室は戦々恐々です。生徒と教員数増えろっ!!
○ダイエット企画を始めました。卒業式に結果発表です。みんな毎日筋トレとストレッチを頑張っています。
○「1月は往ぬ、2月は逃げる、3月は去る」と言います。軽症コロナでゆっくりした冬休み、その後、突っ走るように、三学期のまとめ、分掌のまとめをして、4月への準備です。一年一年が、本当に早い。時間を大切に過ごしていきたいです。

○一日入学を開催し、新1年生となる園児と在校生が交流しました。
○パソコンのデータが飛んでしまった。また新たにいい教材を作るチャンスと考えよう!
○年末調整での12月の給料に驚きました。
○午前中に行事や参観日を行い、午後は学校閉庁扱いになる日に「大人の家庭科クラブ」が開かれます。講師は、校長先生。参加自由。実費負担。革製品(バッグ、財布、キーホルダー)や布製品(ポシェット、バッグ)、先日は米袋バック(柿渋塗り)など普段使いできて使い込むことになんてくると物ばかり。親睦も深まって楽しく仕事に向き合えます。
○雪がちらつく寒空の下行われた、1年生にとって初めてのマラソン大会。皆果敢に挑戦し、転んだ児童もすぐに立ち上がり、全員完走することができました。

記録や順位以上に、一人一人が持つ力を精一杯出し切れたことが、何より嬉しかったです。入学当初は母親が恋しくて涙ぐむ児童も居た1年生。遅くなったなあと、その成長ぶりに嬉しさを噛み締めたマラソン大会でした。
○先日の人間ドックで、太り過ぎと怒られました。気合を入れて、9月までに10kg落とし、来年の竜馬マラソンに出ます!
○今年で今の勤務校は閉校になります。仕事を終え、鍵を閉め、いつも電気がついていないかと振り返るのですが、本当にここに子どもたちの声が響かなくなるのかと、毎回切なくなります。子どもも大人もこの学校に関わっているみんなが、四月から良いスタートが出来ますように。

メールはこちら

